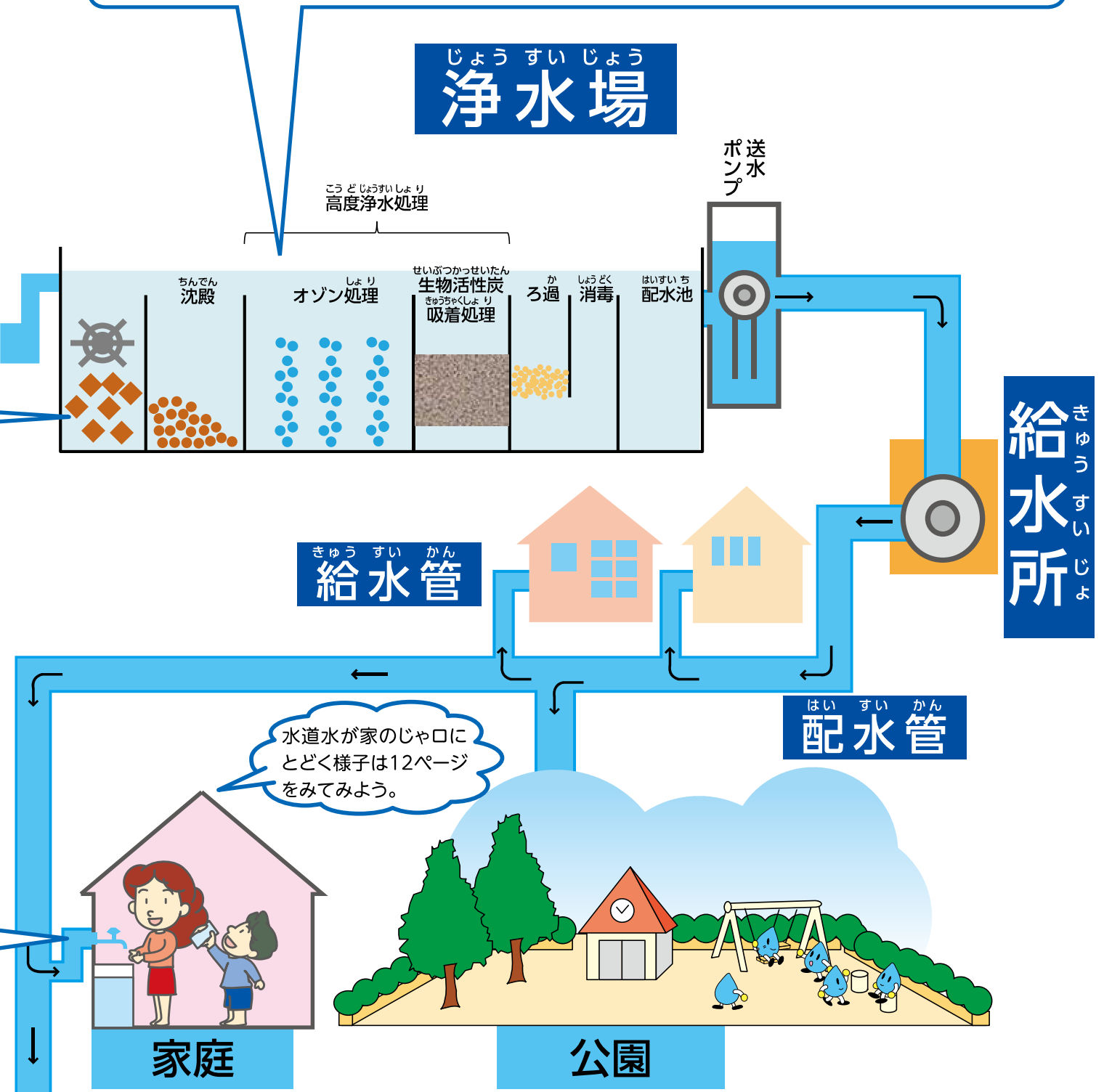


## (2) おいしい水づくり

いつもおいしい水をとどけるために、水道局では、どのような取組をしているのでしょうか。

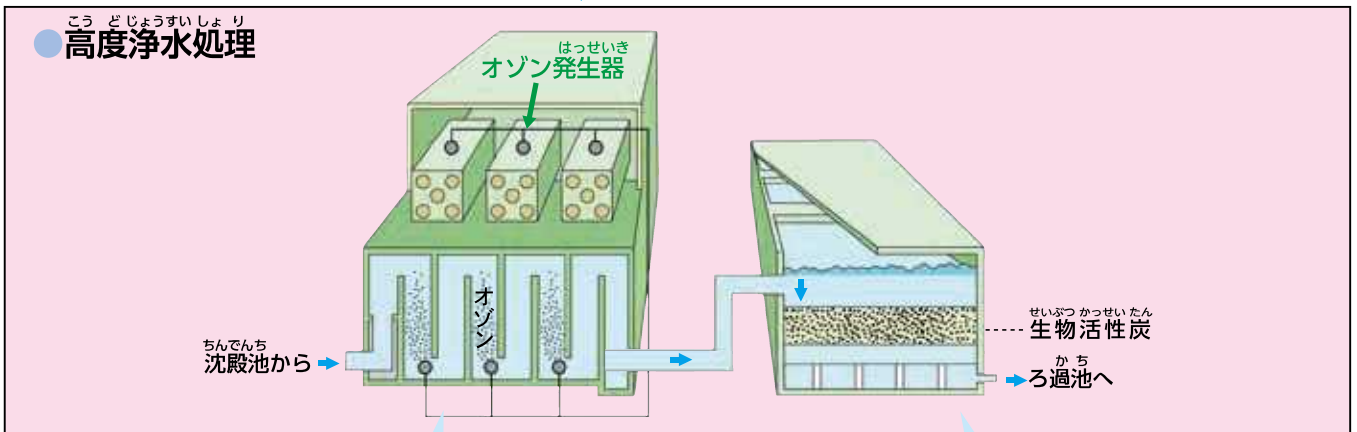
### おいしい水にするための工夫 (高度浄水処理)

水の味を悪くするカビのようなにおいのもとの中には、浄水場で行っている「沈殿→ろ過→消毒」では完全には取りきれないものがあります。そこで、オゾンや生物活性炭を使った「高度浄水処理」という新しい方法を取り入れ、より安全でおいしい水をつくっています。→くわしくは11ページを見てみよう。

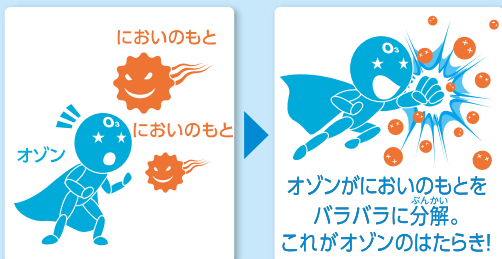


高度浄水処理のしくみ

オゾンには、においのもとをバラバラにする働きがあります。バラバラになったにおいのもとは、活性炭に取り込まれたり、微生物に食べられたりします。こうして、においのもとが取り除かれたおいしい水をつくることができるのです。



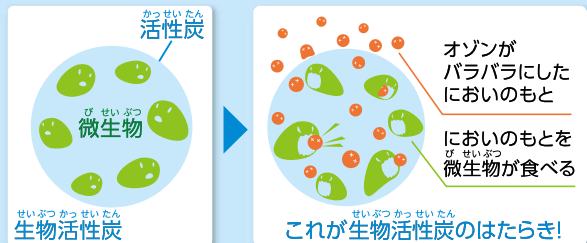
オゾンのはたらきのイメージ



オゾンを注入しているところ

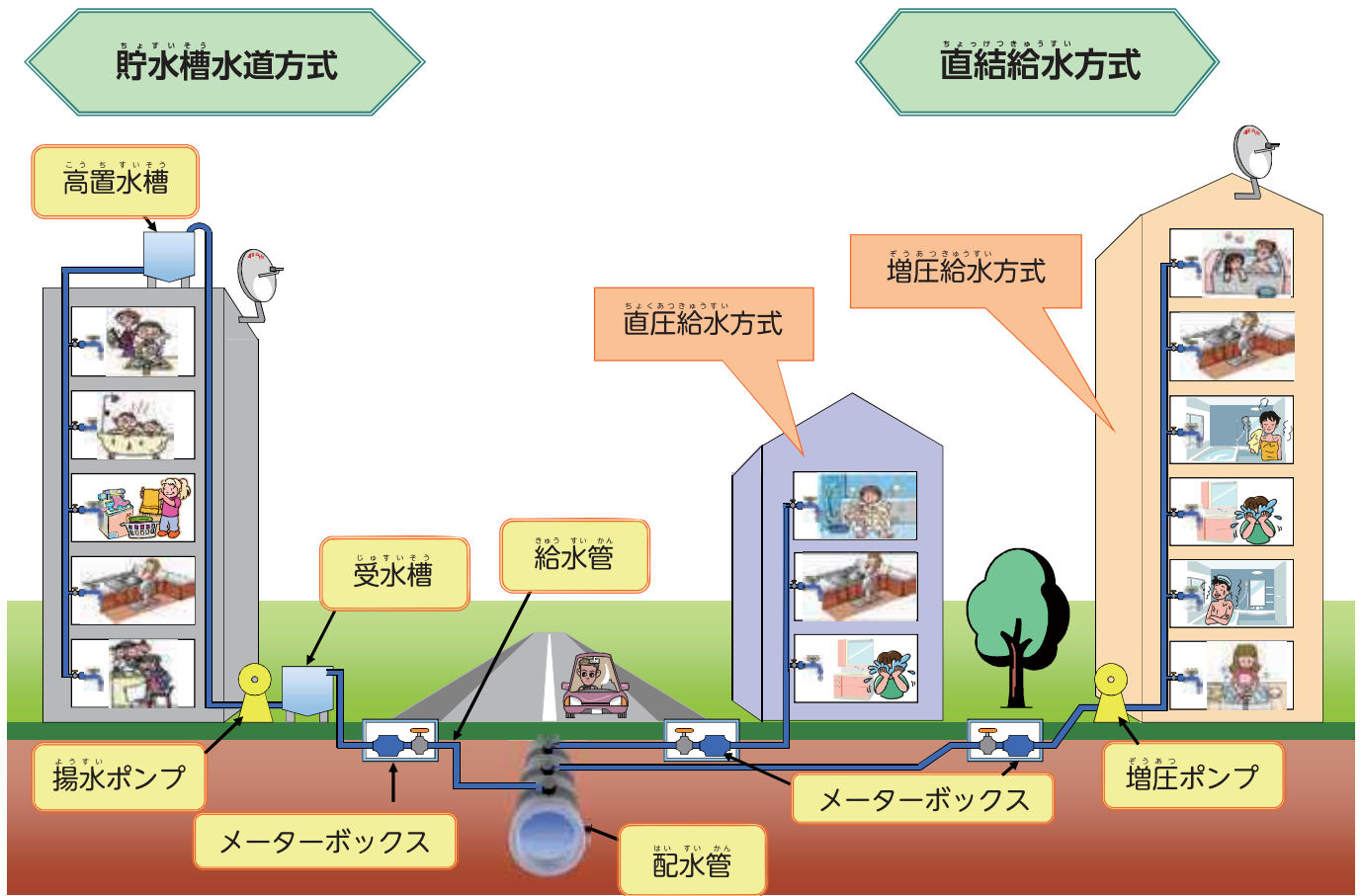
生物活性炭のはたらきのイメージ

オゾンでバラバラになったにおいのもとを生物活性炭のところでろ過



生物活性炭の拡大写真

● 水道水が家のじゃ口にとどくまで



● 貯水槽水道方式  
水を受水槽にためて、ポンプなどを使ってじゃ口に送る方法です。

● 直結給水方式  
浄水場でつくられたおいしい水を、受水槽にためずに、直せつじゃ口に送る方法です。



水道局の人の話

においのないおいしい水をとどけるため、浄水場に高度浄水処理を取り入れたり、古い水道管の取りかえをしています。また、直結給水方式への切りかえをすすめています。